

## 防犯意識を高めましょう

年末・年始のこの時期は、昔から強盗や窃盗などの犯罪や交通事故が多発する傾向にあります。

クリスマスや正月行事などで出かける機会が増えることと思います。

大切な子どもを事件・事故等から守るためにも、家族で話し合っ、防犯意識を高めましょう。



### 家庭では特に次の点に留意してください。

- 1 家族で外出する時は全てのドアや窓に鍵をかけましょう。
- 2 子どもだけで留守番をする時にインターフォンや電話が鳴った時の対応をどうするか決めておきましょう。
- 3 外出が日没前後になる時は、反射材やライトを利用しましょう。また、できるだけ明るく広い通りを歩きましょう。
- 4 何かあった時の連絡方法を家族の中で決めておきましょう。



## 冬休みを事故なく過ごそう

冬休みに入ると、子どもたちは、いつもと違って不規則な生活に陥りがちです。

中には、少しくらい羽目を外してもばれないだろうと、スマホで連絡を取り合っ、親が寝た後に外出し、犯罪に巻き込まれたり、飲酒や喫煙、あるいは深夜徘徊で補導されるケースもあります。

非行防止の備えとして、家庭内で「帰宅時間を決める」、「行動の善悪を意識させる」、「夜は外出させない」など、家族でよく話し合い、ルールを決めましょう。



## 雪道に注意

雪道を歩く時、歩きやすいからと安易に除雪された車道を歩く人をよく見かけますが、ただでさえ滑りやすい道路。ドライバーもものすごく神経を使いながら運転しています。ブレーキをかけてもすぐには止まれません。事故に遭わないためにも、車道を歩くことは厳に慎みましょう。子どもが真似したら大変です。

急加速、急ブレーキ、急ハンドルの3急運転は非常に危険です。ドライバーはゆとりを持った運転を心がけてください。

## 小中学生の不登校 昨年度過去最多を更新

岩手県教育委員会は昨年度の県内の不登校の子ども数が2,270人で過去最多だったと発表しました。

全国の統計でも24万4,940人と、やはり過去最多だったことが公表されています。

文部科学省は、コロナ禍による一斉休校や学校生活でのさまざまな制限が交友関係などに影響を及ぼし、登校する意欲がわきにくくなったのではないかと分析しています。



また、コロナによる外出控えにより、家でSNSやゲームに夢中になり、ネット依存の疑いのある少年が増加しているとの報告もありました。

これらの解決には教育機関やカウンセラー(医療機関)、家族の連携・協力が重要であり、時間もかかります。

一人一人の児童生徒に寄り添い、その子に合った方法で解決することが肝要ですが、地域の皆さんも協力し、大切な学びの保障に努めましょう。

## 不審者出没に注意！

岩手県内で小・中学生への声かけ事案が多発しているとの岩手県警察からの「びかぼ」情報がありました。北上市内での発生は報告されていませんが、近隣市町で発生しており、いつ北上市内で起きてもおかしくありません。

将来ある子供たちを守るため、地域の皆さんには、「散歩しながら」、「買い物しながら」等、「〇〇しながら」のながら見守りをお願いします。



### 北上市少年センター悩み相談室

当センターでは、少年少女の悩み相談(本人、家族等)を行っています。悩むより相談してみませんか。

電話 **0197(72)8302**

相談時間 月～金 9:00～17:00

場所 北上市大通り一丁目3番1号  
おでんせプラザぐるーぶ3階  
北上市少年センター



### 補導日誌

10月18日17時55分  
歩道で立ち話をしているカップルがいたが、こちらからの声かけに明るくあいさつを返してくれた。

ホソコ2階で男子高校生2名が真剣に勉強していた。

帰宅中の高校生に「きょうなら」などと声をけると大半の生徒から元気なあいさつが返ってくるが、イヤホンをしている生徒からは気付いていないのか、無視される。

10月19日16時30分

下校途中の中学生を6名ほど見かけ、その中で自転車を運転していた4名に運転のマナー指導をした。村崎野駅周辺には、一般の利用者数名と通学の高校生が十数名ほどいたが、特に問題行動は無かった。

10月20日16時

橋本児童公園に向かう途中、高校生7人とあいさつを交わす。橋本児童公園では、小学生8人が元気な声で鬼ごっこをしていた。その元気で楽しそうな声が「コロナ退散」のまじないに思えた。

11月7日18時

暗くなるのが早く、皆急ぎ足。テスト期間のためか、高校生は少なくなかった。部活動帰りの中学生が意外と多く、無灯火の自転車も目についた。声をかけると、しつかり返事をしてくれた。